

双塔



新潟教会

2013年 7月

N

○. 302



聖マルタのように

助任司祭ナジ・エデルベルトウス

夏が来てスイカ割に興じる子供達の姿を楽しみにしている人がいると思います。「右！」と叫んでも左の方に向かう子供もいるので、大きい声やかん高い声が飛び交い、さながら「コンサート」のような雰囲気になります。空振りして地面を叩く子供の棒の音は皆の笑いを誘いますね。失敗してもまたチャレンジしたいと言いだす無邪気な子供を見る時、私は、今月「29日」に記念する聖マルタの事を思い出します。

マルタは子供のようにイエス様を自分の家に喜んで迎え入れる人でした。イエス様に（ルカ 10. 42）誉められなくてもマリアと違って次の機会にイエス様を迎え、彼の質問や言葉に耳を傾ける前に兄弟ラザロの事を先に知らせました。マルタの兄弟姉妹の名前を思うと、小さくて普遍的な教会の事を思い出す人もいます。ラザロ（神は私の支え/助け）という名前は信仰を示し、マルタというギリシア語の名前は当時の異邦人を歓迎する彼女の父の心構えを表していると思います。ユダヤ人でない人も迎え入れる両親であったかもしれませぬ。その心構えを受け継いだマルタはファリサイ派の人と違ってイエス様を迎え入れたので、御父の御計画である天の国がある程度実現される事になりました。

天の国と言えばファリサイ派の質問を思い出す人がいると思います。天の国を示してくださいと問われた時、イエス様はご自分の事を受け入れないファリサイ派の人々に対して「天の国はあなたがたの中にあります」（ルカ 17. 21）と答えられました。イエス様は天の国の代理者であり彼の存在によって天の国が実現され始めている事を表している場面ですね。イエス様を迎え入れるベタニア家族の内に天の国が見られるように、イエス様の言葉を語り、それを生かす教会も神の国であることを示しています。天の国はもう既に実現されてはいますが、しかしまだ完全なものではありません。部分的な教会、また一人一人の信者がマリアのようにイエス様の言葉に耳を傾け、またマルタによって示された憐れみを生かしていくことによって神の国をある程度多くの人に体験させることが、神の庭を慕う気持ちを強くしてくれると思います。神の庭に憩うと言えば、「詩編 66」が先月亀田教会聖堂で亡くなられた野田神父の写真にあるのを見ました。それを読んだ時に真夏にスイカを食べる楽しい感じを思い出し、それに憧れる天の国はまだ完成されていない部分もあることを思い出しました。そして次に山田神父の写真の中にある「私はあなたを選んだ。実を結び、その実が残るように」（ヨハネ 16. 15）という聖書の箇所を読んだ時、信者一人一人の使命を含めてマルタのことをふと思い出しました。マルタは自分に与えられた力でイエス様と弟子達を心よくもてなす中で、ラザロに対するイエス様の力が加えられて七つ目の奇跡が起こったのでしょうか。マルタのように勇

気を持って復活への希望と喜びの証しとすることが出来るように。

そよかせ！ 便り

■ 『晩の祈りと聖体礼拝』 ————— 6月2日(日) —————

教皇フランシスコはローマ時間2日17時から、聖ペトロ大聖堂で聖体礼拝を行い、教皇庁から全世界の司教座聖堂で、同時刻(時差は考慮)に聖体礼拝をするよう要請があった。新潟教会でも、菊地司教様の司式で、「キリストの聖体」の祭日の晩の祈りと聖体礼拝が行われ、約80名が参加。世界中のカテドラルで、一斉に聖体礼拝を行うのは、カトリック教会始まって以来のこと。菊地司教様は「私たちはミサにあずかってご聖体をいただいているが、ご聖体を顕示して礼拝するのは、キリストが聖体の秘跡を通して、今も私たちとともにいてくださるという信仰を新たにし、再確認することでもある」と話された。

※ 晩の祈り：『教会の祈り』(聖職者の「聖務日課」が、公会議後に信徒に薦めている祈り)の中の一つ。詩編唱和と聖書朗読、福音の歌(マリアの歌)、共同祈願などから構成。

■ 『インターナショナル・フレンド・シップ・バザー』 開催 ————— 6月2日(日) —————

今年で4回目となる国際協力部主催のバザーが9:30ミサ後、12:00英語ミサ後にセンターで行われた。手作りの餅やクッキー、花園教会の方から提供のケーキなども並び、瞬く間に売り切れの品もあって、嬉しい悲鳴♪甘党のラウール神父様もケーキをお買い上げ。続いて英語ミサ後の午後からも、会場は国際色豊かに大賑わい

----- 編集後記 ----- 《みんなの広場》いかがでしたか？ ラウール神父様のお祖母ちゃんの“宝物”だった写真を拝借したものです。この写真は、お祖母ちゃんから子供であるラウール神父様のご両親へ、そして孫のラウール神父様に託されました。そして、今、遠い日本の新潟教会の「家族」に託されました。教会は共同体というより、「家族なのだ」と強く感じます。 広報部

ミサ時間のご案内

† 主日(日曜日) 7時・9時半・12時※ 18時
※ 第1日曜日は英語ミサ
† 週日(金曜以外) 7時
† 金曜日 10時(第1金曜日 10時・18時)

カトリック新潟教会 月刊「双塔」

毎月1回 最終日曜日発行
編集・発行/カトリック新潟教会
教会運営委員会広報部
〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町 656
TEL: 025-222-5024 FAX: 025-222-5054